

《創造の眼Ⅴ》

～ 慈眼 ～



令和7年度の本館の展示事業のテーマは「まなざし」です。特別展及び所蔵品展において、各作家たちがどのような眼差しで対象を捉え、何を追求していたのかを明らかにしていきます。

所蔵品展においても、秋野不矩の創造の源流となったまなざしを5つの視点から顕彰していきます。

目に見えている表面的な現象から、更に深く対象を捉えようとする画家の眼(まなこ)に着目し、目指した表現をテーマ別に紹介し、秋野の生き方や人間性等について見つけていきます。

展覧会の見どころ①

不矩は形として見えにくい人の心や思いをどのように目に見える形や色で表したのでしょうか。色遣い・筆触・構図等から慈愛の心を感じ取ったり読み取ったりしてみましょう。

展覧会の見どころ②

秋野不矩は、大学の教え子たちにも積極的に絵本の制作を勧めていました。今回展示している「いっすんぼうし」では多くの「ひと・もの・こと」との出会いや関わり合いが描かれています。この絵本原画に込められたメッセージを受け取ってみましょう。

→ 第一展示室

1 童女

Little Girl
1946(昭和21)
絹本着色・額
49.1×52.5

2 春の花

Spring Flowers
制作年不詳
紙本着色・額
38.0×50.5

3 白桃

White Peach
制作年不詳
紙本着色・額
26.0×52.0

4 紅梅

Red Plum
制作年不詳
紙本着色・額
33.0×45.0

5 猫

Cat
1980年代(昭和55～平成2)
紙本着色・額
59.0×71.0

6 三菩薩像

Three Bodhisattvas
1986(昭和61)
紙本着色・額
152.0×141.0

7 朝の祈り

Morning Prayer
1988(昭和63)
紙本着色・額
145.0×85.0

8 糸

Thread
1982(昭和57)
紙本着色・額
寄託作品
91.0×52.5

9 土の家[C]

Mud House [C]
1987(昭和62)
紙本着色・額
95.0×105.5

10～16 素描

Drawings

1 中庭の祈り	制作年不詳	紙本鉛筆着色	各29.0×40.0
2 マドバニ村落の壁画	制作年不詳	紙本鉛筆着色	44.2×36.7
3 LEOGRYPH	1977(昭和52)	紙本鉛筆	52.7×41.2
4 南スーリヤ(ナラカ)	1977(昭和52)	紙本鉛筆	52.7×41.2
5 ラージャラーニー寺院II	制作年不詳	紙本鉛筆	44.5×33.5

《創造の眼Ⅴ》～ 慈眼 ～



Akino Fuku Museum

→ 第二展示室

17 砂漠の街

Desert Town
1982 (昭和57)
紙本着色・額
138.5×262.0

18 女人群像

Women with Folk Clothes
1988 (昭和63)
紙本着色・額
160.0×160.0

19 ラージャラーニー寺院Ⅱ

Rajarani Temple II
1995 (平成7)
紙本着色・額
149.5×145.5

20 民家(ブガアネシュワール・旧タウンA)

Folk House, Bhubaneswar Old Town A
1993 (平成5)
紙本着色・額
110.0×320.0

21 ガンガー (2000)

Ganga (2000)
2000 (平成12)
紙本着色・六曲一隻
170.0×376.0

22 沼

Marsh
1991 (平成3)
紙本着色・額
133.6×162.4

23 雨雲 (2000)

Rain Clouds (2000)
2000 (平成12)
紙本着色・六曲一隻
170.0×376.0

24 砂漠のガイド

Desert Guide
2001 (平成13)
紙本着色・額
99.0×133.0

→ 第一展示室

絵本原画

25 いっすんぼうし (絵本原画)

I ssun-boshi
(Picture book original illustrations)
1965 (昭和40)
紙本着色
20.8～23.0×42.0～46.0

一寸法師のような話は海外にもあり、英国圏では、「親指トム」が知られている。

このため、いっすんぼうしの英語のタイトルは「Japanese Tom Thumb」と英訳されることもあるという。

不矩は京都市立芸術大学の教員時代に日本画制作と同じ熱量をもって絵本制作を行うことの重要性を教え子たちに説いていたという。

絵本原画では、伝統的な日本画に見られる線を駆使して対象を的確に捉える場面がある一方、

鬼と戦う場面では 勢いのある筆遣いで鬼の迫力を描くなど、多彩な表現が用いられている。

絵本での表現は、インド作品とは一味違う秋野不矩の魅力が堪能できる。

次回展覧会のお知らせ

所蔵品展 慈愛の心Ⅱ ～ 悲 ～

会期：2026年5月26日 [火]ー6月21日 [日]

会場：浜松市秋野不矩美術館 第1・2 展示室



浜松市

秋野不矩

美術館

Akino Fuku Museum

〒431-3314 静岡県浜松市天竜区二俣町二俣130 TEL. 053-922-0315 FAX. 053-922-0316



美術館HP



X (Twitter)



Instagram



[運営団体]

公益財団法人

浜松市文化振興財団

Hamamatsu Cultural Foundation

<https://akinofuku-museum.jp>